



パネルディスカッションで各委員会の取組が委員長より発表された

第36回例会創立10周年へのスタート例会 「夢とロマンをカタチに」各委員会活動ディスカッション

■ 日 時 平成24年6月25日(月) 午後6時より7時30分
 ■ 会 場 レンブラントホテル厚木 2階暁紅の間



挨拶する大泉政治会長



総合同会は築城忠生理事

今

今回の例会は、各委員会の委員長と幹事長にパネルになってもらい、活動内容と、10周年に向けての抱負を討論すること。そして、会場の参加者と意見交換することを狙いにパネルディスカッションを開催しました。

まず、総務委員長の竹村和子氏が開会のことばを述べたあと、大泉会長の挨拶があり、ちょうど今日が誕生日だというサプライズで、例会の最初からハッピーバースデーの合唱がわき起こり、出だしから大いに盛り上がりを感じられました(パネルディスカッションの内容は次ページをご覧ください)。

パネルディスカッションは、10周年記念事業準備委員会委員長の福森 登氏の挨拶でスタートを切りました。



■ パネラー

- | | |
|--------------------|----------|
| 総務委員会委員長 | 竹村 和子 |
| 会員親睦委員会委員長 | 末澤 広子 |
| 交通アクセス向上推進委員会委員長 | 飯田 隆三 |
| 県央湘南アクアシティ推進委員会委員長 | 増田 健治 |
| 新規事業検討委員会委員長 | 長谷川 康幸 |
| 幹事長 | 北村 正敏 |
| コーディネーター | 幹事 井 寛明 |
| 総合同会 | 幹事 築城 忠生 |

最後に、総まとめ的な感想を大泉会長にいただき、高井 男氏の閉会のことばで例会は無事終了しました。また今日の総合同会の、築城 忠生氏とパネルディスカッションのコーディネーター井 寛明氏のお二人は、例会の内容について事前の打ち合わせに大変御苦労をいただきました。ありがとうございました。

第36回例会

パネルディスカッション「夢とロマンをカタチに」

県中央経営者会10周年記念事業準備委員会委員長挨拶

福森…今までの委員会活動の報告は、スクリーンを使つての報告やペーパーでの報告でしたが、今日は少し趣を変えて討論しあいながら、また皆様方の参加をいただき、10周年へ向けての道のりを見ていきたいと思つます。

井…総務委員会の井です。今日は皆様と意見を出し合いながら進めていきたいと思つます。また和気あいあいの雰囲気を進めたいと思つますので皆様方のご協力をお願いいたします。まず今取り組んでいる各委員会の事業内容について委員長さんから発表していただきたいと思つます。

飯田…この会ができたときに、大泉会長がこの地域は非常に交通が不便だということで、交通問題に取り組んだのが最初だと伺つています。従つて、この委員会は鉄道網、道路網の2点を中心に委員会を構成しています。鉄道については小田急さん相鉄さんと何度も打合せをして参りました。その成果としては、小田急さんが地下鉄に乗り入れるとき、最初は相模大野始発であったところを本厚木まで延伸してもらうことを要望し、実現しました。県中央経営者会が最初に開いた公開例会の時に、小田急電鉄と相模鉄道が相互乗り入れできないかということで討論し、その後何度も交渉してきましたがなかなか難しい。ということで、それなら横浜から箱根までロマンスカーを通せないかという構想に切り替えて現在折衝中です。また、小田急電鉄さんには急行電車でグリーン車をつけてほしいということで、これからの高齢化社会においてトイレのない車両で1時間以上乗つている

のは大変なことであり、ぜひ実現したいと考えております。これには近隣4市の首長さんも大賛成してくれ、一緒に陳情書を提出することになっています。JRの検討チームでは新幹線の小田原駅にひかり号をもう少し止めてほしいという要望をしています。この要望は、地元の小田原市の商工会議所や周辺自治体に働きかけていく予定です。道路網のことですが、246バイパスの早期実現が大きなテーマで、各市・町を結ぶ道路としてループ橋の考え方を取り入れた、道路網の整備を提案していきたいと思つています。

井…次に県中央湘南アクアシティ推進委員会の増田委員長をお願いします。

増田…3年前にアイデアコンテストを開催し、多くのアイデアをいただいた。この中からグランプリを取つたループ橋を、相模川の三川合流地点に設置したらどうなるか、具体化の案を策定しつつあります。また、相模川の景観づくりという観点から川の法面にバラを植栽し、各方面の協力を得つつ河川敷約3千平米にバラを植えている。これはあと3年もすれば素晴らしいバラ園になるし、そうなつたらそこでいろいろなイベントが開催でき、厚木の名所が増えることになります。

一方、橋本にはリニヤー新幹線の駅ができ、寒川の倉見には従来の新幹線の新駅ができることによつて相模川を中心とした「県中央湘南アクアシティ」構想の実現性が増してきました。この構想の中には、相模川沿いにLRTを走らせる等のアイデアもあります。

井…次に、新規事業委員会の長谷川委員長をお願いします。

長谷川…新規事業委員会の基本的なコンセプトは、いろいろな活動の中である程度確立してきたら分離して、委

員会として独立して活動していただく。現在3つの問題を検討しています。一つはソーラーの問題、もう一つはロボットの問題、三つ目は大学とのコラボで街の活性化に結び付けたいというもの。具体的には、ソーラー事業は、厚木の上古沢の15ヘクタールの土地にメガソーラーを設置するというもの。この問題は、厚木市とコンタクトを取り、われわれとしてどう動いたらよいかを模索している状況です。また、ロボットはチームアトムが進める介護ロボットについて、アトムの関係者と話し合つてどのように協力していけるか検討しつつあります。大学とのコラボは、秦野や伊勢原の街の活性化につながらないかということで、副委員長の瀬戸さんが中心となつて進めています。

井…新規事業という名称ですが、中身は一番実現可能性の高い話ではないかと思つます。では総務委員会、竹村委員長と会員親睦委員長の末澤委員長をお願いします。

竹村…総務委員会としては例会を中心とした活動をしていきますが、例会での講演者で、こういう人の話が聞きたいということがあればご連絡ください。

末澤…会員親睦委員会は会員の親睦を図る委員会です。昨年は、東北の被災地支援のため夏季移動例会で奥松島に飲料水を1000本届けました。また、この会は経営者の会ですので、会員の会社が発展していくことも目標の一つです。まず会員同士が知り合うこと。どんなビジネスをしているのかを、お互いにわかるようにしたい。会のホームページとリンクするように設定しています。ぜひ会員の皆様も自分のところのホームページを作つて下さい。どうせ頼むのだったら会員会社に頼みま

しよう。今、会員会社を訪問してDVDを作っていますので、これを見てどんな会社かをわかりあえるようにしたいと思います。

井 県中央経営者会が現在何をやっているのかわからない方もいると思いますので、いきさつも含めてバラの話を北村幹事長にお願いします。

北村 今日の例会は、創立10周年へのスタートの例会です。10周年の第一の目標は、近未来の県中央湘南の地域をこんな街にするということを描いて、提案することです。経営者にとって一番大切なことは未来を読むことでしょうか。県中央経営者会が未来をこうつくるといこうことを言い、それを実現していく。夢をカタチにしていこうことが大切だと思います。20年後に、あるとき県中央経営者会がこう言っていたが本当に実現したなあと言えるように頑張らしましょう。さて、バラのはなしですがアイデアコンテストで出たアイデアを実現しようということで、3年前に県や市や他の団体と協力して立ち上げた事業が、相模川の土手にバラを植えるということでした。これがきっかけで厚木市では相模川の三川合流地点までいろいろな施策を計画しています。例えばバーベキュー広場だとか散策の道路や屋形舟の発着場所の整備などです。

井 バラもアイデアコンテストで出てきたものですが、このコンテストでグランプリを取った井上さんに「ルール橋」を説明してもらいましょう。

井上 厚木は30年以上前から交通渋滞がひどいということを聞かされてきました。交通渋滞こそが厚木のネックです。これの解消なくしては厚木の発展はないと考えられています。私がアイデアコンテストに出した案が受け入れられ、10周年に向けてより実現可能な案にしていかなければならないということで、その計画書を作りました。それによると、500億円の費用で可能なものにした、そしてこの橋の設置でどのくらい渋滞が解消できるかも検討してきました。これについて会員の皆さん

が声をかけていただければ、こちらから出向いて説明したいと思います。

井 これまでは、相模川水系に着目したはなしを進めてきましたが、先ほど出てきましたLRTを川沿いに走らせるとか、ツインシティ構想の話が出てきましたが、会場の皆様からこんなことをやったらよいのではないかといったご意見があれば伺いたいと思います。

瀬戸 秦野・伊勢原地域の衰退が激しいので、何とかして活気づけたいということとで産業能率大学さんに働きかけました。大学と共同で街づくりをしませんかという話をしたところ予想以上の反響があり、これから学部長さんと会って進め方を協議する予定です。

飯田 これからの構想ですが、伊勢原の駅周辺を再開発するのではなく、若い人たちと話し合っている中から、大きな道の駅を作ったかどうかというアイデアが出てきました。伊勢原は246バイパスが通り、新東名と従来の東名高速道路の交差する地点で、そのジャンクションが計画されています。従って、この地域は将来大きな交通の要衝となりうる場所です。そこに東京ドーム30個くらいの大きさの道の駅ができれば、経済の活性化はもちろん防災の点でも活用できると考えています。

井 これからの街の活性化のキーワードは、大型商業施設、交通インフラ、環境問題であると思います。その意味で、いま平塚の方で再開発の話が進んでいると聞きますが長谷川さんお願いします。

長谷川 平塚では、日産車体の移転により約6万坪の土地が開いたので、そこに大型商業施設ができそうだと聞いています。また相模縦貫道の開通に伴う各高速道路との連結により、その周辺の再開発につながると考えられます。厚木と平塚を結ぶ線が従来から大変悪い。大神地区を再開発して、相模川沿いに専用レーンを使ったLRTを中心に結ぶ案が出ています。我々が考えなければならぬことは、ツインシティ構想が実現した

場合の交通アクセスの問題、街づくりの問題を真剣に検討することだと思っています。

井 ここで見方を変えて、今度はロボットの話をききたいと思います。ロボットを活かして地域経済の活性化を図るということですが、北村幹事長お願いします。

北村 地方分権、地域主権は、その地域が経済的に自立することが大切です。その一つがこのロボットの話です。これからの高齢化社会で、福祉ロボットの推進が次の時代の活性化につながると考えています。この地域が本当に世界の福祉ロボットの中心拠点となることが目標です。チームアトムとして活動してきたメンバーと協力して、県中央経営者会も今後の活動を進めていきたい。

井 では、青年会からも一言お願いします。

大泉秀 大変熱い話を聞かせていただきましたが、青年会が10年後、20年後に引き継ぐべきことと重く受け止めたと思います。一方、自分たちの力で何かやっていくことが大切で、先ほどの地方分権、地域主権の話はすぐく共感しているしそれをキーワードにして何かできればと思っています。東京の高尾山に中国人が沢山登りに来るといふのに、なぜ大山には来ないのか。単に宣伝不足なのか、国際的な目を持った若い人たちにそういう感覚で地元を盛り上げていければと思います。

井 10周年に向けて、若者の斬新なアイデアを盛り込んだ事業を進めていければと思います。最後に、大泉会長にまともをお願いします。

大泉会長 パネルディスカッションは、各委員会が何をやっているのか、これから何をやりたいのかがわかってよかった。10周年に向けて、さらに充実した会にしていくではありませんか。(了)

第36回例会
パネルディスカッション「夢とロマンをカタチに」

夏季移動例会が9月に開催される



今年の夏季移動例会は、会員の皆様にアンケートを出し、日程と行き先を決定しました。その結果、日程は、9月2日(日)～3日(月)の1泊2日で、行き先は15もの候補地が挙げられ、その中から選ばれたのが、「一度は泊まってみたい「和みの宿」堂ヶ島ニュー銀水 伊豆の旅2日間」でした。結果、参加者は28名で旅程は次のようになりました。

■ 行程表 ■

(1日目)
 会長宅前を9時に出発～東名高速～沼津IC～沼津御用邸記念公園見学～沼津魚河岸丸天で昼食～松原公園で休憩～堂ヶ島温泉(ニュー銀水で宿泊)

(2日目)
 ホテルを8時45分出発～堂ヶ島天窓洞遊覧船～葦山江川邸見学～三島・松韻亭で昼食～沼津ぐるめ街道の駅～東名高速～帰着

夏季移動例会雑感



会員親睦委員会委員長 末澤 広子

取水制限が出る程雨の少ない夏だったと言うのに、何故か移動例会出発の朝は雨模様。それでも沼津に到着する時には太陽が顔を見せ、炎天下での沼津御用邸見学となりました。皇族の方々の、恐らくは宮廷よりも伸びやかにご家族で過ごされていた避暑地での生活を思い描き、また当時はモダン、今となつては骨董に近い生活用品を見学できたことも楽しい思い出となりました。旅程は、その後松原公園、翌日の堂ヶ島洞窟遊覧、葦山江川邸へと続くのですが、楽しい盛りだくさんのコースを用意して下さった霜島幹事様に、本当に感謝です。特に1日目昼食の沼津魚河岸「丸天」は、通常予約を取らない大人気店。折衝もさぞかし困難だった事でしょう。今回は、新しい顔ぶれの参加もあり、全行程楽しく盛り上がりました。参加された皆様のご協力に、心より御礼申し上げます。



県中央経営者会 新委員会の紹介



新委員会設立の経緯

「新規事業委員会」は、平成24年度の活動計画において、①ソーラー事業関係、②ロボット関係、③コラボレーション事業の3事業を検討する委員会として発足しました。ところが、平成24年度に入りそれぞれの活動において大きな進展がみられ、各事業が独立して活動した方が有効であるとの判断から、3事業を委員会に格上げして新たな委員会組織として発足させることになりました。

組織名は、「新規事業委員会」はこれまで通り、新たに検討すべき事業を掘り起こし、推進する委員会組織として活動する。一方、上記3事業は、ソーラー事業は新たに「再生可能エネルギー推進委員会」に、ロボット事業は「ロボット推進委員会」、コラボ事業はそれぞれの地区の活性化につながる活動を目指して、「地区活性化委員会」という組織名となりました。

各委員会のメンバーは、10月中旬に全会員に案内を出しますので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。また、10月29日の第38回例会の折には再度募集用紙を配布いたします。

新委員会の役員紹介

「再生可能エネルギー推進委員会」

委員長 高橋 冬玖氏
(JEE(株))
副委員長 高井 男氏
(株)富士テクノソリューションズ
幹事 菅沼 浩二氏
(菅沼設計)



「ロボット推進委員会」

委員長 長谷川 康幸氏(株)湊製作所
副委員長 岡見 健(株)小島組
副委員長 今井 安世(有)テクノイマイ
幹事 岸野 義人(株)ジャパンアート



「地区活性化委員会」

委員長 瀬戸 誠(株)セクメット

副委員長・幹事は置かないで、各地区部会にそれぞれ部会長を置いてその部会ごとに地区活性化を検討していく。現在は、伊勢原地区が産能大とのコラボレーションによって地区の活性化を図っている。これにならってそれぞれの地区にも活性化の活動が進展していくことを期待したい。



イベントのご案内

10月29日(月)午後1時より、レンブラントホテル厚木の2階で神奈川県高齢福祉課が主催の「第1回神奈川県介護ロボットフォーラム」が開催されます。このイベントの主幹を「チームアトム」「県中央経営者会ロボット推進委員会」「神奈川県工科大学山本研究室」の3団体合同で行う予定です。神奈川県より国に県央地域を介護ロボットの研究開発特区として申請が出されているところでのイベントです。当会の新委員会としてのデビュー行事となりますので大いに盛り上げたいと思います。

<http://www.kaigo-robot-kanafuku.jp/>

会員の 会社紹介

掲示版

この掲示版では会員の方の会社を紹介しております。会社案内、イベント案内など何でも掲載OKですので、是非、あなたの会社もPRしてみたいはいかがでしょうか！。掲載無料ですので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。

成城秋葉労働衛生 コンサルタント事務所

- 衛生健康相談
- 労務者の健康管理
- 休職復職相談
- メンタルヘルスと予防接種

神奈川中央あきばクリニック

院長 秋葉 雅夫

〒259-1141 神奈川県伊勢原市上粕屋 519-3
TEL.0463-97-2620 FAX.0463-97-2640

県央経営者会の主導により メガソーラー発電第1号の 設置を実現！

平成23年4月に黒岩知事が就任すると同時に大泉会長が訪問し、県央の経済活性化について協力をお願いしました。知事はその席で「ソーラーとロボットを組み合わせてどんどん進めていけば、県央地域のマグネットになるのではないか」と言われました。このような経緯から、県央経営者会はすぐに会内に「ソーラー部会」を設置しソーラー事業の実現と発展のため力を注いでまいりました。その結果、メガソーラーの設置場所として、厚木市の上古沢を推薦し、今回決定された次第です。これは神奈川県内におけるメガソーラー発電の第1号であり、これをきっかけにしてさらにメガソーラー事業が進展することが期待されます。

そして7月25日(水)に、厚木市役所においてメガソーラー発電事業者決定の記者会見があり、(株)オーズミが県内初の事業者に選定されました。当日は、黒岩知事と小林市長立会いのもと、大泉会長と県央経営者会でソーラー事業を推進してきた岸野理事が出席して会見が行われました。大泉会長は、「実際問題として採算性は厳しいですが、地域活性化のためにやろうと決意しました。またこの地域が観光スポットとしても活用されるように考えていきたい」と将来の夢を交えて話されました。



インフォメーション

第38回例会

日時 平成24年10月29日(月)午後5時より
場所 レンブラントホテル厚木
3階相模の間

内容

会員の会社訪問

DVDによる会員の会社訪問レポート

特別講演

「世界の日産が描く未来のモビリティ社会像」

講師 日産自動車株式会社
常務執行役員 篠原 稔氏

介護ロボットシンポジウムin厚木

さがみロボット特区申請を記念して
開催されます！

日時 平成24年10月29日(月)

午後1時～4時30分

会場 レンブラントホテル厚木 2階

主催 神奈川県高齢福祉課

主幹 神奈川工科大学
チームアトム

県央経営者会

講演 山本圭治郎神奈川工科大学教授

◎参加費無料 だれでも参加できます！

申込は：<http://www.kaigo-robot-kanatoku.jp>

を検索してください。

事務局便り

新委員会の募集をいたします。現在所属している委員会とは別組織なので、何方でも新委員会にも所属することができます。新委員会をご希望の方は同封いたしました申込書に必要事項をご記入のうえ県央経営者会事務局までファックスして下さい。